ひよこぐみだより

R3年3月30日
ひよこ組
No・6

暖かい日が続き桜の花も満開になり 年長さんが育てたチュウーリップの花も咲き始めました。ひよこ組もみんな大きくなり、アンパンマンのお庭に出たり、散歩に出かけ、花をフーフーしたり虫を見つけてみんなで不思議そうに見ています。

新型コロナウイルス感染症で、いろいろな行事が縮小され、ひよこ組が参加できない行事もあった今年度も残すところあとわずかになりました。感染症予防など、この 1 年間、保護者の皆様には、たくさんのご協力とご理解をいただきありがとうございました。感染症予防により例年流行するインフルエンザや RS ウイルス感染、手足口病などの感染症はほとんど見られず元気に登園できた事をうれしく思っています。まだまだ新型コロナウイルス感染症は治まる気配がないです これからも手洗いなどの感染症予防を継続し子ども達の健康管理をよろしくお願いします。

ひよこ組の子どもたちもあっという間に大きくなりました。ちょっと前までは、手にとどいたおもちゃを取り、ガジガジとロでかじったり、なめたりして、ひたすら「これはなんだ？」と確かめていたのが、友だちが持っているおもちゃを見て、「あれ、知ってる」「あれがほしい」という思いがでてきて、声を出しながらおもちゃをめがけて近づき、取り合う姿も見られるようになりました。その一生懸命な姿がとってもかわいいです。ハイハイや歩くことが楽しいこの時期、中庭に出て遊ぶとあっちへ、こっちへと行きたい気持ちがいっぱいです。転んだり、しりもちをついたりもしますが、自分で立ち上がり、たくましいものです。トコトコと歩いては、しゃがんでみたり、また、立ち上がり歩いてと探索行動が広がっています。その経験を重ねることによってバランス感覚が育ったり、踏ん張る筋肉がついたりします。外は自然と子どもも大人も笑顔にしてくれます。

外でも周りの音も良く聞こえています。回りのことも興味津々でよく見ています。“何か音がした”“これ、知っている”と指差しや「あっあっ」「だぁだぁ」「うーうー」と言葉になりませんが声を発して教えてくれます。「そうね」「みつけたね」と優しく頷いたり、声をかけたり、ゆびさしや喃語にゆっくりと応えながら、同じものを見て一緒に笑ったり、お花を見て歌をロずさむと自然と体を揺らし笑顔になる子どもたちです。

月齢の大きい子になると、つもりや見立て遊びがままごと遊びでも見られます。バックを下げて「バイバイ(いってきます)」と言ってでかける子ども、「お茶をください」というとお茶碗やコップを「はい」と差し出してくれたり、「ありがとう」と言うと反対に、頭をちょこんとしてくれたり、子どもたちのしぐさや表情を見ていると、子どもたちにとっての言葉だなと思いました。

まだ自分の思いを言葉にして表すことが難しい時期の子ども達ですが、日々の生活の中で、頭も体もいっぱい使って遊びながら、そばにいる大人が子どもたちの気持ちを言葉に代えてあげながら、ひとつひとつの関わりを大切に過ごしていきたいと思います。

みんな大きくなりましたね